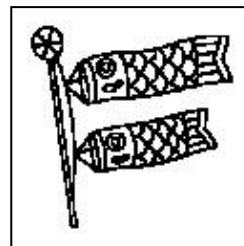


# ぷらう 54号



発行：TEACCH プログラム研究会

## ＜会長のつぶやき＞

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

### 合理的配慮再び

前回の合理的配慮についてのつぶやきには反響が結構沢山あった。2016 年 4 月に障害者差別解消法が施行されたので、少なくとも国公立の学校では合理的配慮が法的義務になった。

障害者権利条約で定義されている「合理的配慮」とは、障害のある人の平等権や基本的人権が阻害されている場合にそれを回復するための「変更」や「調整」のことで、一般的な意味での「気遣い」や「配慮」の意味ではない。

原語は reasonable accommodation で、合理的配慮と訳するしかなかったのだろうと思うが、配慮というとなにか特別に「気を遣って」「気配りしてます」といった意味合いにとられかねない。そういった抽象的なものではなくて、accommodation とは具体的な変更や調整のことである。障害特性のために社会的障壁（バリア）がある場合に、そのバリアを最小限にするような変更や調整のことである。今回は学校の水が飲めない子どもの例をあげたが、似たような例は本当に多い。例えば以下のような具合である。

#### Aさん 卒業証書は校長が卒業式で手渡す

中学校 3 年生で通常級に在籍している。アスペルガー症候群で卒業式のような儀式はもとも苦手だが壇上で人目を浴びつつ卒業証書を受け取るのはさらに苦手であるため、教室で担任から卒業証書を受け取ることを希望した。担任からは卒業証書は校長からしか渡せない決まりなので、がんばって壇上で校長から受け取るように強く要請された。

#### Bさん 偏食のため給食が食べられない

Bさんは中度の知的障害を伴う自閉症で特別支援学校に在籍している。偏食が強く、ほとんどの給食を食べることができない。給食の時間は食べるものがないためヒマをもてあまし、奇声などの問題行動が増加する。学校側に給食のメニューを本児の嗜好に合わせて欲しいと要望したが、諸事情でそれはできないと断られた。その学校を見学したところ、アレルギーの子どもには別メニューが準備されていた。アレルギーは命に関わるので別メニューを準備するが、「単なる好き嫌い」には対応できないと言われた。

Aさんには、教室で担任から卒業証書を渡す、Bさんには特別のメニューを準備するか、家から弁当を持参することにするのが「調整」や「変更」になる。

担任から渡すのは学校側にとって負担はほとんどないだろう。特別メニューは多少負担かもしれないが、アレルギーの子どもに特別メニューを準備できるのだから、その気になればできなくなるだろうし、弁当にいたっては学校の負担は減るのではないだろうか？

これまでは個別の事例について特別の対応を学校に求めると「一人だけ特別扱いはできない」「不公平なことはできない」「他の子どもから『ずるい』と批判され本人のためにならない」「他の親から苦情がくる」「通常学級だから特別のことはできない」などと学校関係者から言われることがあった。

今後は、どのように変わっていくのか、変わっていかないのか、注目したい。

## <TEACCH コラボレーションセミナー報告>

### TEACCH コラボレーションセミナー2016 を終えて

常任理事（講師招聘事業担当） 村松 陽子

開催までには講師の変更など大変なこともありましたが、終わってみれば期待以上の素晴らしいセミナーになりました。今回のテーマである「精神科的問題と不安への対処」は最近注目を浴びている重要なトピックであり、幅広い領域からの参加者がありました。バーガディン先生の講義は、いつもながら理論的で、且つとても具体的な内容で、新しい知識を得るとともに、これまでの知識や経験がすっきり整理されました。参加されたみなさんにとって明日から役に立つ内容だったと思います。バーガディン先生に講師をお願いするのは、今回が3回目になりますが、テーマは毎回違っても、いつも確かな支援の方向性を示してくださいませ。バーガディン先生の素晴らしさとともに、TEACCHの奥深さと幅の広さを感じます。

2日目の実践報告は、当初このテーマで報告者が見つかるだろうかと心配しましたが、それも杞憂に終わりました。集まった報告はどれも大変充実したもので、バーガディン先生も絶賛されていました。しかも、事前に打ち合わせたわけではないのに、1日目の講義の内容にぴったり合った実践内容で、TEACCHプログラム研究会のメンバーの底力を感じるとともに、小手先ではなく理念を理解して実践することの大切さを改めて感じました。

シルクホールで開催するコラボレーションセミナーは今回が最後になり、次回からは新たな会場で開催することになります。2年後、また良い学びや出会いが得られるように、会員の皆様のお力を集めて準備を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

### TEACCH コラボレーションセミナー2016 に参加して

愛知支部 榊原 文男  
(NPO 法人 ゆめじろう)

毎年楽しみに参加しています。今年は1日休暇を取り、終わってからお寺巡りをして来ました。東本願寺で法話を聞いて、西本願寺の「埋め木」探しをして来ました。そんな話をしたいのですが、そうなりますと原稿はボツになってしまいそうなので、本題に入ります。

1日目のマリー・バーガディン博士の講演会では、自閉症スペクトラムの方が抱えている不安や気分障害を持っていることを理解して、丁寧に支援をしていくことが必要だと解りました。自己理解の為に「不安メーカー」の勝手に名付けましたが、不安な状態を具体的に表し共通の理解にして、解消する為の対処を具体的に示す取り組みに感銘しました。一つひとつのお話が、日頃接している利用者さんに当てはまる事が多くありました。

2日目の高度な認知行動療法の話から命を守ることから人生を開拓していく報告など、思わず

食い入ってしまう報告ばかりでした。

特別支援学校高等部での「授業参加への取り組み」の S さんの取り組みの中で、PECS を用いて、S さんが落ち着いて他の生徒さんとのコミュニケーションをとっている様子は驚きました。

マリー・バーガディン博士の言われていましたように自閉症を理解して丁寧な取り組みを行った結果が成果として出ている素晴らしい発表ばかりでした。

TEACCH プログラムに接して 5 年位になります。仕事の中では十分に取り入れておらず、まだまだ自分は解っていないのだなと思っていました。しかし、出来ることから少しずつでも取り入れていきたいと思いました。困難を抱えた利用者さんに少しでも良い方向に導きが出来るように仕事に取り組んでいます。

### TEACCH コラボレーションセミナーに参加して

京都支部 藤田 次郎

今年のコラボレーションセミナーでは、TEACCH センター所長のマリー・バーガディン博士をお迎えして、初日は「自閉症スペクトラムと併存する不安のある人への理解と対応」と「感情理解を促進し、対処方法を身に付け、不安に直に向き合うことによって不安を治療する」という 2 つの講演を伺いました。

前段の講演では、自閉症に対する治療計画として「周囲の世界をより予測可能にする整理統合への手がかりを与える」ことが「不安」に対する対応としても有効であることを話されました。スケジュール、ワークシステムなどを用いて見通しを持った活動が出来るようにすることが不安を軽減することや、恐れや不安を生じやすい場面では何が望ましいかの明確な視覚的手がかりを与えることが大切であるということが特に心に残りました。

後段の講演では不安に対しての自己理解を高め、その対処の方略を身に付けるためにやはり視覚的にわかりやすくするため「ストレス計」を用いたり 5 段階表を用いたりすること、コントロールを保つための「ルーチン」を確立すること、認知行動療法を用いていくことなどが大切だと思いました。

2 日目は国内からの実践報告とそれに基づくディスカッション、そしてそれに対するバーガディン博士の講評がありました。報告のあった 4 例とも知的な遅れがほとんどない高機能自閉症スペクトラムの方を対象としていましたが、逆にそれだけに自己肯定感が乏しくなり、より問題を深刻にしていることを感じました。不安の背景にある自己肯定感の少なさをどのように解決していくか、その手立てとして TEACCH の手法（構造化・視覚支援など）が有効であることが確認できました。

これからも学びを続けていくことの大切さを改めて感じた 2 日間でした

### 日々の実践に役立てられるようになるために

熊本支部 石津 サヤカ

TEACCH 研究会における私の立ち位置は、親・親の会事務局・B 型事業所管理者です。今回が 2 回目の参加です。理解の程度に少し不安もありますが「参加」は良かったと確信し満足しています。

アスペルガー症候群の診断を受けた成人の子を持つ親の仲間 NPO 法人を設立し、1 年半後「若葉工房」（裂織り）を始め、支援者として関わってきました。約 4 年間は、会員である家族

(主に母親)と話し合いながらの支援活動であり、障害福祉サービス就労継続支援 B 型の事業になったこの 2 年間は、管理者・生活支援員・職業指導員の立場での支援に変わりました。

今の障害福祉サービス制度では、相談支援事業所から提供される利用者さんの情報(ほとんどが聞き取りだけの情報)だけで、「ぶっつけ本番」に近い支援活動になってしまいます。

利用者の方たちはしばしば「不調」になられます。回復を待つのですが、長期になったりします。悩ましい毎日を過ごしている私に、「今日はどんな事が起きましたか?」と相談に乗ってくれる夫が、セミナーと一緒に参加出来ました。独りよがりな解釈をしやすい私なので、今回の講演も実践報告もその内容をより深く学べていると思います。

「不安」への理解と対応・「認知行動療法」など等、すべてのプログラムが、日々の活動を見直す大変良い機会になりました。日々の実践に役立てたいです。

京都での開催って魅力的です。

## <平成 28 年度第 1 回理事会報告>

平成 28 年度第 1 回理事会は、2 月 19 日(土) 18:00~21:45 に、ベーコンプラザ京都で行われました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

参加者 理事 内山 宇山 諏訪 村松 笠合 中村 東京 五味 中井 益本 小川 鎌田  
丸田 森田(隆) 森田(礼) 高原 内田 瀬尾 三ヶ田 下田  
会計 岡本 今村 原崎(全会計)

### <議案 1> 平成 28 年度理事および役割の確認

- ・役割分担を確認

### <議案 2> 平成 27 年度活動報告

- ・事務局より平成 27 年度活動報告。

### <議案 3> 平成 27 年度会計報告および特別会計報告

- ・年会費の納入状況について、コンビニ払いでの納入を導入したことにより、平成 26 年度には、納入金額が 50 万円程度アップしたが、平成 27 年度は収入が再び減っている。会員へ改めて年度内の会費納入を呼びかける必要がある。
- ・土倉事務所と新規入会者の会費納入方法(支部例会等での新入会員受付)について確認。

<支部例会等で新規入会申し込みがあった場合の会費等の振り込み方法について以下のいずれかの方法により振り込む>

○入会希望者に入会金及び年会費納入振込用紙(赤色振込用紙:手数料無料)を渡し、本人に振り込んでもらう。

※但し、入会金及び年会費の振り込み確認を、各支部から土倉事務所に直接問い合わせをする必要がある。未納の場合は会員同様に後日催促の連絡がある。

○各支部で入会金と会費をその場で徴収し、支部が代行して入会金及び年会費納入振込用紙(赤色振込用紙:手数料無料)にて振り込む。

※支部が代理で振り込む場合、必ず入会希望者氏名がわかるように記入すること。複数

名を連名にて振り込みも可能。

【その他・注意事項】

※上記の方法で会費納入を行うため、今後は土倉事務所より振り込み用紙を送付しない。ただし、TEACCH プログラム研究会本部から本人へ振込用紙の送付が必要な場合には、土倉事務所に連絡する。

※代理で振り込みを行う際に、相当程度の代行料等を徴取することは各支部に一任する。

<議案 4> 平成 27 年度各支部事業報告

- ・各支部事業報告

<議案 5> トレーニングセミナー2016 in 大分の実施について

- ・11月19日(土)～11月23日(祝)での開催。別府駅より徒歩圏内。
- ・プログラムの詳細については検討中。

<議案 6> 平成 28 年度事業報告(案)

- ・トレーニングセミナーについて、日程と別府市にて開催することを明記する。
- ・自閉症カンファレンスのポスターセッションに参加。この際、支部の活動詳細を求められることがあるため、理事や世話人に協力をお願いする。

<議案 7> 平成 28 年度予算案

- ・現在、隔年で行われているコラボレーションセミナー(海外招聘事業)に 450 万円を拠出している。しかし、会費収入が減少している中、コラボレーションセミナーへの拠出が困難になる可能性がある。コラボレーションセミナーの開催については、財政面と開催予算とを照らし合わせ検討が必要である。

<議案 8> 実践研究大会 2017 in 神奈川

- ・次回の理事会では、実践報告者の推薦を各支部よりお願いしたい。発表していただくのであれば会員以外でも可。
- ・各ライフステージにおいて、どのように関わってきて、どのように成長していったのかを遡ったり追いかけてたりしながら全体像が見えるような内容にしたい(連携・つながり)

<議案 9> 平成 28 年度総会議案

<議案 10> 実践研究大会等の費用(準備金)について

- ・今までは準備金の余剰は支部にて活用してきたが、本部資金が少なくなってきたため、今後は貸付金とし、余剰金については本部会計に戻していただく。貸付金以上にもうけが出た場合はその分のみ支部資金にするのは構わない。万が一赤字となった場合は原則として本部よりさらに拠出する。(内部規定についても変更)

<議案 11> ぷらう 54 号について

<議案 12> その他

- ・次回理事会 6月 18日 13:30～

## ＜平成 28 年度総会報告＞

平成 28 年度の総会は、平成 28 年 2 月 20 日（土）16：45 より、京都染織会館（シルクホール）において行われました。総会では、新理事・役員、および以下の 7 議案について会員の皆様の承認をいただきました。

### 議案 1 平成 28 年度の理事および役割について

☆…新理事

支部	平成 28 年度の役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP・研修（トレセミ，実践研）	宇山 秀一
常任	研修（トレセミ，実践研）	諏訪 利明
常任	啓発担当	笠合 竜明
北海道		中村 明美
東京		黒田 美保
神奈川		五味 純子
山梨		中井百合子
石川		益本 尚子
愛知		小川 真紀
滋賀		☆鎌田 博之
京都		丸田富美代
大阪		森田 隆
鳥取		森田 礼子
香川	広報	高原 淳一
福岡		内田 博昭
佐賀		☆瀬尾 裕子
大分		三ヶ田智弘
熊本	事務局	下田 祐輝

監事    水野 敦之 氏（佐賀）    原崎 知之 氏（神奈川）

### 議案 2 平成 27 年度活動報告

- 3月 7日（土） 平成 27 年度第 1 回理事会（大阪）
- 3月 7日（土）
- ～8日（日） 第 12 回実践研究大会 in 大阪
- 3月 7日（土） 平成 27 年度総会
- 5月            機関誌『ぷらう』52号（春）発行
- 6月 27日（土） 平成 27 年度第 2 回理事会（京都）
- 8月 22日（土）
- ～23日（日） 自閉症カンファレンス NIPPON2015 のポスターセッションに参加
- 12月           機関誌『ぷらう』53号（秋）発行

議案 3

平成 27 年度会計報告

会計報告

TEACCHプログラム研究会 実践研究大会 IN大阪2015 会計報告				
	項目	金額	摘要	
収入	参加費	760,000	5000円×152名分	
	懇親会費	382,320	6480円×59名分	
	本部より補助金	500,000		
	合計	1,642,320		
支出	実行委員会 会費	65,147	1/31,2/22に会議。室料、交通費等。	
	記念講演講師謝礼	100,000		
	記念講演講師飲食代等	2,000		
	会場及び機材費	171,900		
	天満研修センターキャンセル費用	0		
	茶菓子代等	83,229	コーヒー、お茶、茶菓子等	
	発表者宿泊代・交通費	93,180		
	実行委員交通費	36,000	大阪支部15名、京都支部3名	
	実行委員昼食代	18,000		
	冊子印刷代	32,216	振込料を含む	
	懇親会宴席代	401,760	当日3名欠席	
	近畿日本ツーリストに支払い	111,076	企画料金、送料、手数料等	
	その他	5,897	名札ホルダー、紙コップ、ゴミ袋等	
	大阪支部へ	521,915		
	合計	1,642,320		
	差引		0	

以上の通り、相違ありません。

TEACCHプログラム研究会大阪支部 会計 瀬野 裕子

特別会計積立金 会計報告

平成27年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
* 会計年度 平成27年1月1日～平成27年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥5,827,094
一般会計より	¥1,000,000
利息	¥162
合計	¥6,827,256
<支出>	
第5回講師招聘事業運営費	¥4,500,000
	¥0
支払手数料(振込手数料)	¥432
合計	¥4,500,432
<収支>	
収入¥6,827,256 - 支出¥4,500,432	¥2,326,824
残金¥2,326,824 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成28年2月12日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 原崎知之 (印)
平成28年2月15日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 瀧田美波 (印)
	水野敦之 (印)

実践研究大 in 大阪 2015 会計報告

平成27年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成27年1月1日～平成27年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥1,486,071
会費	¥3,593,000
利息	¥58
合計	¥5,079,129
<支出>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費)	¥1,160,244
(¥460×2,155名+¥300×240名+¥900×1 +¥700×15+¥85,944(消費税))	
理事会交通費(2回分)	¥1,057,454
理事会会議費(2回分)	¥79,136
JDD年会費	¥100,000
通信費	¥193,414
HP管理費	¥72,720
自閉症カンファレンスパネルセッション派遣費	¥9,221
封筒代(TEACCHプログラム研究会名入)	¥74,520
支払手数料(振込手数料)	¥2,700
雑費(PC修理代・事務局用品・コピー代等)	¥61,404
特別会計積立金	¥1,000,000
合計	¥3,810,813
<収支>	
収入¥5,079,129 - 支出¥3,810,813	= ¥1,268,316
残金¥1,268,316 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成28年2月12日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 原崎知之 (印)
平成28年2月15日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 瀧田美波 (印)
	水野敦之 (印)

議案 4

平成 28 年度活動計画 (案)

- 2月19日(金) 平成28年度第1回理事会(京都)
- 2月20日(土)
- ～21日(日) TEACCH コラボレーションセミナー2016(京都)

- 2月20日(土) 平成28年度総会  
 機関誌『ぶらう』54号(春)発行  
 6月 平成28年度第2回理事会(京都)  
 8月 自閉症カンファレンス NIPPON2016 のポスターセッションに参加  
 機関誌『ぶらう』55号(秋)発行  
 11月 トレーニングセミナー2016 in 大分

\*上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する。

## 議案5 平成28年度予算(案)

### 予算案

<収入>	
前年度繰越金	¥1,268,316
会費 (¥2,000×2,155名×0.8)	¥3,448,000
入会金(¥1,000×200名)	¥200,000
合計	¥4,916,316
<支出>	
名簿及び会費管理費(土倉事務所手数料) (¥460×2,200名+¥300×250名 +¥700×15+¥87,800(消費税))	¥1,185,300
コンビニ払い委託料(前期) (¥95×700名+¥500×3回×2ヶ月+¥15,000×2ヶ月)	¥72,500
コンビニ払い委託料(後期) (¥95×300名+¥500×3回×2ヶ月+¥15,000×2ヶ月)	¥61,500
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,500,000
理事会会議費(2回)	¥100,000
総務委員会交通費(2回)	¥400,000
総務委員会会議費(2回)	¥30,000
JDDネット年会費	¥100,000
通信費	¥300,000
HP作成費・管理費	¥100,000
雑費(事務局用品購入など)	¥30,000
支払手数料(振込手数料)	¥5,000
特別会計積立金	¥0
予備費	¥1,032,016
合計	¥4,916,316

### 特別会計予算

<収入>	
前年度繰越金	¥2,326,824
第5回講師招聘事業運営費戻り分	¥1,800,000
特別会計積立金	¥0
合計	¥4,126,824
<支出>	
実践研究大会2017年in神奈川 運営費	¥500,000
トレセミ2016in大分 運営費	¥500,000
支払手数料	¥10,000
予備費	¥3,116,824
合計	¥4,126,824

## 議案6 研究会会則変更について

事務局の交代に伴い、第4条を変更。

参照：TEACCHプログラム研究会会則 平成28年度改訂版



# 各支部活動計画

## <北海道支部>

### 1. 会議（支部関係）

場所：北海道発達障害者支援センターあおいそら／北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成28年度 北海道支部総会	1.19	平成27年度事業報告 決算報告 監査報告 平成28年度事業計画（案） 予算（案）他
第1回運営委員会	3.1	企画研修会について
第2回運営委員会	5.10	企画研修会について
第3回運営委員会	7.5	企画研修会について
第4回運営委員会	9.13	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	11.15	来年度計画について・平成29年度総会について

※平成29年度支部総会は、H29.1.17（火）開催予定

### 2. 会議（本部関係）

件名	日時	内容	場所
第1回本部理事会	2.19	平成28年度本部事業及び本部運営について 総会議案について	ベーコンラボ京都
平成28年度 本部総会	2.20	平成27年度本部事業報告，決算報告，監査報告 平成28年度本部事業計画（案），予算（案） 他	京都シルクホール
第2回本部理事会	未定	未定	未定

### 3. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.19（火）	「実践報告 ワークショップはこだての 実践」 ※会員限定	ワークセンターほくと 増村 和樹 氏
第2回	5.17（火）	学習会「TEACCHの歴史と理念&ASDの特性と構造化」 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第3回	6.19（日） ～20（月）	講演会「そらいろプロジェクト（仮）」 ※オープン参加	京都スマイルカット 赤松 隆慈 氏
第4回	7.23（土）	「応用行動分析学国際シンポジウム in 函館」 共催企画 ※オープン参加	オハイオ州立大学 ウィリアム・L・ヒューワード氏
第5回	未定	自閉症援助技術研究会との共催企画	未定

第6回	11.6(土)	講演会「自閉症と子育て支援(仮)」 ※オープン参加	鳥取大学 井上 雅彦 氏
第7回	11月	実践報告会「自閉症とアート(仮)」 ※オープン参加	北海道教育大学附属特別支援学校 松倉 泰介 氏

#### 4. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	3月上旬	■平成28年度総会報告 ■学習会案内 他
第2報	4月	■ぷらう(本部会報)
第3報	6月上旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第4報	7月中旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第5報	8月下旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第6報	10月	■ぷらう(本部会報)
第7報	12月上旬	■学習会報告 ■総会案内 他

### < 石川支部 >

日時	支部主催の 事業内容	演題 講師	会場	会報	運営 委員会
1月24日 9:30~12:00	総会 講演会	「自閉症児の健康管理とてんかん」 横井 透 氏 (横井小児科内科医院院長)	金沢市教育 プラザ	○	○
3月6日 9:30~12:00	講演会	「将来の生活の視点で考える幼児から成人までの教育・支援」 水野 敦之 氏 (社会福祉法人つつじ広島県発達障害児(者)支援体制市町サポート事業サポートコーチ)	石川県地場 産業振興 センター	○	
4月24日 9:30~12:00	第67回 例会	「自閉症の疑似体験」 柿木 晴美さん (発達障害児親の会つみきの会)	金沢市教育 プラザ	○	○
5月22日 9:30~12:00	講演会	「自閉症児・者のコミュニケーション指導」 藤岡 紀子 氏 (つばさ発達クリニック言語聴覚士)	金沢市教育 プラザ	○	○
6月19日 9:30~12:00	能登例会	「発達障害のある子のこころ ~キム外来こぼれ話~」 金 泰子 氏 (大阪医科大学附属病院発達小児科医師)	石川県立 生涯学習 センター 能登分室	○	
7月10日 9:30~12:00	講演会	「発達障害の本人告知について」(仮) 安本 真由美 氏 (やすもと医院院長)	石川県地場 産業振興 センター	○	

9月11日 9:30～12:00	第68回 例会	ワークショップ 「自閉症スペクトラムあるある」 小坂 正栄 氏 (日本ホーテージ協会石川湖南支部)	金沢市教育 プラザ	○	○
11月13日 9:30～12:00	第69回 例会	「相談支援専門員の役割」(仮) 笠合 竜明 氏 (相談支援事業所「きずな」相談支援専門員)	金沢市教育 プラザ	○	○

## ＜東京支部＞

月	日	勉強会の内容	講師	役員 会議
1月	17日(日)	基礎講座「アセスメント」 基礎講座「コミュニケーション」 会場：LMJ 東京研修センター3F 大会議室	黒田美保 五味純子	
3月	26日(土)	総会&特別講演会 「発達障害の対応困難例とその支援について」 「心的トラウマを抱えた子どもへの支援について」 会場：中小企業振興公社 秋葉原 会議室1	内山登紀夫 三ヶ田智弘	
5月	29日(日)	第1回事例検討会		*
				*
7月	30日(土) 31日(日)	ワーク第一希望(29日 準備日)	黒田美保	
10月	16日(日)	基礎講座「特性と構造化」	新井豊吉	*
11月	13日(日)	第2回事例検討会		*

- ・ 最新情報は、TEACCHプログラム研究会東京支部公式ブログに掲載いたします。また、メルマガ、フェイスブック、ツイッターでも発信しておりますので参考になさってください。
- ・ 予定しております勉強会は、諸般の事情により内容が変更されることもあります。参加者には別途お知らせいたします。

### お申込み

東京支部 HP の申込フォームもしくは【必要事項】を記入のうえメール、FAX からお申し込みください。

【必要事項】：氏名・会員/非会員の別・メールアドレス・連絡可能な電話番号

保護者/専門職/学生の別(専門職の方は勤務先と職種、学生は学校名と専攻を明記)

【受講費】：講座の内容によって価格が変更になることがあります。ワークショップは原則として会員が対象で、参加条件を満たした方のみ申込できます。

	TEACCHプログラム研究会 東京支部会員		非会員(一般)	
	半日	全日	半日	全日
講演会・基礎講座	1,000円	2,000円	3,000円	5,000円
事例検討会	100円		500円	
事例検討会・講義	1,000円		3,000円	
ワークショップ	20,000円		40,000円	

## ＜神奈川支部＞

日 時	内 容	ご 案 内
2月20日(土) 21日(日)	TEACCH コラボレーションセミナー 2016	京都染織会館 シルク会館ホール
3月25日(金) 19:00~20:30	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【報告】「ノースカロライナからの風Ⅳ」 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザ さがみはら
4月15日(金) 19:00~20:30	【研修会】「自閉症の特性について」 五味 純子(運営役員)	県央福祉社会会議室
5月20日(金) 19:00~20:30	【研修会】「評価について」 宇山 秀一(運営役員)	県央福祉社会会議室
6月17日(金) 19:00~20:30	【実践報告】「強度行動障害の理解と支援」 高橋 隆志(運営役員)	県央福祉社会会議室
7月15日(金) 19:00~20:30	【研修会】「構造化について」 山田 兼右(運営役員)	県央福祉社会会議室
9月18日(日) 19日(月)	【ワークショップ】 詳細が決まり次第、お知らせいたします。	未定
10月21日(金) 19:00~20:30	【研修会】「コミュニケーションについて」 川井 赳彦(運営役員)	県央福祉社会会議室
11月18日(金) 19:00~20:30	【実践報告】未定 詳細が決まり次第、お知らせいたします。	県央福祉社会会議室
12月17日(土) 18:30~21:30	【講演会】テーマ：未定 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザ さがみはら

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。

※基本の研修会については、**参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円**です。ワークショップ、講演会等の参加費については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

＜会場＞◆ユニコムプラザ さがみはら (bono 相模大野 サウスモール 3 階)  
神奈川県相模原市南区相模大野 3 丁目 3 番 (小田急「相模大野」駅北口を出て徒歩 3 分)

◆社会福祉法人県央福祉社会法人会議室  
神奈川県大和市中央 2-3-19 ウエスト・ビルディング 4F  
(小田急・相鉄「大和」駅西口を出て徒歩 5 分)

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局  
〒242-0006 神奈川県大和市南林間 5-1-24 1 号棟  
児童発達支援事業 松ぼっくり内 山田  
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-240-1008  
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

◆TEACCH プログラム研究会ブログ <http://TEACCH-kanagawa.blogspot.jp/>

◆Facebook ページ <https://www.facebook.com/TEACCHkanagawa/>

(日程変更・活動報告等の最新情報はブログ等でご確認ください。)

## ＜愛知支部＞

月	日	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報発行	総会など
1	9	講演会 「コミュニケーション支援と合理的配慮について」 講師：坂井 聡氏（香川大学教育学部 教授）		会報	総会 世話人会
2					
3					世話人会
4					
5	29	講演会 「各ライフステージにおいて大切にしたいこと」 講師：宇野 洋太氏（名古屋大学医学部附属病院 親と子どもも心療科）			世話人会
6					
7	17	実践報告会 講師：神田 健司氏（NPO 法人 MOVE）		会報	
8					
9					
10					
11	未定	講演会 講師：岡田 眞子氏 （滋賀医科大学小児科発達外来）			
12					

## ＜山梨支部＞

本年度も、実践的な知識やスキルを習得したいという現場の要望に応え、かつ昨年度の実技研修での経験や反省も踏まえて、現任職員向けの研修の充実度向上に注力します。

### 【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	2月6日（土）	① 今年度活動計画について ② 総会準備
総会	2月6日（土）	① 事業活動・決算報告 ② 事業計画・予算案 ③ 役員選任
第2回 運営委員会	4月	研修全般の準備，トレセミ参加者 等
第3回 運営委員会	6月	TTAP 研修準備，ミニ勉強会の進捗状況 等
第4回 運営委員会	9月	幼稚園・保育園研修準備 等
第5回 運営委員会	12月	総会準備 等

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
外部研修	1月23日(土)	自閉症療育者のための トレーニングセミナー実践発表会
講演会	5月8日(日)	信州大学教授 本田秀夫氏 テーマ 「発達障害と精神科医療」
現任職員向け研修	7月31日(日)	「TTAP 実技研修会 PART2」 早稲田大学教授 梅永雄二氏 CAS 相談員 縄岡好晴氏
大分トレーニングセミナー	11月	5daysの予定
幼稚園職員向け研修	11月(日程調整中)	「幼稚園・保育園の先生たちの 基礎講座 PART3」 横浜市東部地域療育センター 安倍陽子氏
施設見学	6月(日程調整中)	強度行動障害のある人への支援の実践を見学
勉強会	2月～6月 隔月開催予定	TTAP 研修に向けたミニ勉強会 トレセミ経験者を中心とした自主勉強会 (幼稚園職員中心)

＜滋賀支部＞

今年度も、年度の初めに自閉症スペクトラムの基本的な特性理解と支援について学ぶ連続講座を開催します。初めて自閉症スペクトラムの人に支援に関わることになった方はもちろん、ご自分の支援をふりかえりたい方にも役立つ内容になると思います。皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加ください。

また、7月以降は、実践報告会と氷山モデルを用いた事例検討会を予定しております。応用編として参加していただき、さらに学びを深めましょう。

\*連続講座「自閉症スペクトラム支援の基礎講座」

講師：滋賀県発達障害者支援センター スタッフ

場所：コミュニティセンターやす（滋賀県野洲市小篠原 2142）

- ① 4月22日(金) 19時～20時50分 「自閉症スペクトラムの特性理解」
- ② 5月27日(金) 19時～20時50分 「構造化の支援」
- ③ 6月24日(金) 19時～20時50分 「コミュニケーション支援」

\*実践報告

7月22日(金) 19時～20時50分 「就労移行支援事業所から」

報告：NPO 法人クロスジョブ クロスジョブ草津 高松光照氏

場所：クロスジョブ草津（滋賀県草津市大路1丁目8番1号 南洋軒ビル7階）  
（駐車場については事務局にメールでお問い合わせください）

\*事例検討会

氷山モデルを用いて自閉症スペクトラムの人の「困った行動」の水面下を探り支援を考えます。

9月30日(金) 19時～20時50分

10月28日(金) 19時～20時50分

11月25日(金) 19時～20時50分

場所：未定（草津～野洲近辺） 決まり次第、ブログ、Facebookでお知らせします。

※参加費はいずれも 支部会員無料，支部会員外 500 円です。

※お問い合わせ：滋賀支部事務局 Fax：077-562-8980

E-Mail：TEACCHshiga@yahoo.co.jp

ブログ：http://blog.goo.ne.jp/TEACCHshiga

Facebook：http://www.facebook.com/TEACCHshiga

## ＜京都支部＞

今年度も例会を開催し，うまくいった支援から「支援のヒントをもらい」「どうすればいいの？」「何から始めたらいいの？」などといった支援をする中での???に参加されたみなさまと，一緒に考えられる会にしたいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています。

1月16日 (土)	13:00～16:30	「成人期の自立した生活に向けて， 今，すべきこと・すべきでないこと」 社会福祉法人 南山城学園 スーパーバイザー 澤 月子 氏 京都医療少年院 法務教官	ハートピア京都
2月21日 (土)	10:00～16:30	TEACCH コラボレーションセミナー	京都シルクホール
2月22日 (日)	9:30～15:30	ノースカロライナ大学教授 チャペルヒル TEACCH センター所長 マリー・バーガディン 博士	
5月21日 (土)	13:30～16:30	例会「地域生活を支える支援について」 社会福祉法人 西陣会より 西陣会居宅サービス係 岡田 瑛子 氏	京都社会福祉会館
7月16日 (土)	13:30～16:30	例会「スケジュール・エトセトラ」(仮題) 学校関係者 より	京都社会福祉会館
9月17日 (土)	13:30～16:30	例会 調整中	京都社会福祉会館
11月5日 (土)	13:30～16:30	例会「自閉症スペクトラムの方々への 支援の視点と実践」(仮題) 社会福祉法人 南山城学園 障害者支援施設 「凜」 支援者より報告	京都社会福祉会館

※開催日程や内容が変更されることがあります。

※TEACCH プログラム研究会京都支部のブログやフェイスブックにて，ご確認くださいませよう  
お願いいたします。

## ＜大阪支部＞

テーマ 「振り返ろう ASD の特性理解と支援」

会場 大阪府社会福祉会館

実施日	会議室	演 題	講演者
5/21(土)	401	振り返って考える ASD の特性理解	内山 登紀夫 氏 (よこはま発達クリニック院長・ 福島大学大学院人間発達文化研究科臨床 心理学専攻教授)

6/11(土)	403	日々の支援に活用する アセスメント	小林 一恵 氏 (北摂杉の会研修相談室 臨床心理士)
7/9(土)	301	振り返ろう コミュニケーション指導	諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学医療福祉学部准教授)
9/10(土)	301	活かそう構造化のアイデア	井上 有里 氏 (堺市立上神谷支援学校教諭) 浅井 郁子氏 (堺市教育センター専門指導員)
10/29(土)	301	就労に向けての支援を考えよう	梅永 雄二 氏 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
11/3(木)	401	振り返ろう行動上の問題への支援	重松 孝治 氏 (川崎医療短期大学医療保育科 講師)
12/3(土)	401	大人になった ASD の人への 理解と支援	井上 芳子 氏 (大阪市発達障がい者支援センター所長)

### ＜鳥取支部＞

月	日	時 間	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報の 発行	総会, 世話 人 会など
1月						
2月	14日 (日)	9:00 ~12:00				役員会 総会
3月	10日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 座談会・事例検討会			
4月	14日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 基礎講座			
5月	12日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 自閉症の世界について	鳥取県自閉症 協会総会 記念講演会		
6月	9日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 実践発表(明日葉)	自閉症・発達障 がい基礎講座	ぷらう 春号 送付	
7月	14日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 座談会・事例検討会			
8月						
9月	8日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 自閉症支援について			
10月	13日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 実践発表(未定)	2016 自閉症カンファレン スTOTTORI		
11月	10日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 発達障害者支援について		ぷらう 秋号 送付	
12月	8日 (木)	18:30 ~20:00	【鳥取定例会】 座談会・次年度計画			



【鳥取定例会】特定非営利活動法人スペル 鳥取市瓦町 601 番地 鳥取美術ビル 2F  
TEL (0857) 50-0631

【境港定例会】特定非営利活動法人陽なた 境港市夕日ヶ丘 2 丁目 80 番地  
TEL (0859) 57-6240

※2016 年度の【境港定例会】は休会とします。

### < 香川支部 >

日 時	内 容	講 師
3 月 20 日 (日) 10:00~12:00	支部会員総会 コラボレーションセミナー参加報告	高原淳一氏 香川大学教育学部特別支援学校
4 月 17 日 (日) 10:00~12:00	TEACCH プログラムの基本	池上勝治氏 香川県立高松養護学校
5 月 22 日 (日) 10:00~12:00	「問題行動」への支援について	草原比呂志氏 あじの里地域生活支援センター
6 月 12 日 (日) 10:00~12:00	実践紹介 ～特別支援学校での取り組み～	山本 治氏 香川県立香川中部養護学校
7 月 17 日 (日) 10:00~12:00	コミュニケーション支援について	西村健一氏 香川県立高松養護学校
9 月 18 日 (日) 10:00~12:00	実践紹介 ～福祉分野での取り組み	三宅尚志氏 発達障がい者支援センター アルプスカがわ
<公開講演会> 10 月 16 日 (日) 14:00~16:00	タイトル未定	中谷正恵氏 株式会社 童夢
11 月 20 日 (日) 10:00~12:00	余暇支援について	滝澤健氏 香川大学教育学部附属特別支援学校
12 月 18 日 (日) 10:00~12:00	座談会 ～自閉症への支援 Q & A～	繪内利啓氏 えないメンタルクリニック

### < 福岡支部 >

日 時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
1 月	○自閉症スペクトラム実践研修会 案内状送付		
2 月 27 日 (土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告：施設での実践 報告者：川原孝幸氏・内田博昭氏	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
3 月 8 日 (火) 18:30~20:00	○DVD 上映会 (未定)	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
4 月	○自閉症スペクトラム実践研修会 案内状		
5 月 21 日 (土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告： 報告者：募集	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

6月14日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会 案内状・ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
7月16日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
9月13日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会 案内状送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
10月15日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告: 報告者:募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい 者支援センター)	西南学院大学
11月8日(火) 18:30~20:00	○DVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会 案内状・ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
12月17日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演(タイトル未定) 講師:未定 ○平成28年度総会	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。

※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。

### <佐賀支部>

月	日	内容・講師など	共催・後援	会報発行	総会など
1	16	定例学習会「強度行動障害への対応」 講師 それいゆ 黒木あさ美氏 会場 ほほえみ館視聴覚室			総会
2	13	公開講座「ABA(応用行動分析)入門 ～行動問題の原因分析と対応～」 講師 ABC研究所 今本繁氏 会場 鳥栖市サンメッセホール	結		
	20・ 21	TEACCH コラボレーションセミナー 講師 ノースカロライナ大学教授 チャペルヒル TEACCH センター所長 マリー・バー ガディン氏			
4	2	自閉症啓発デイ映画「シンプルシモン」 会場 アバンセ	自閉症 協会		
	30	公開講演会 「自閉スペクトラムーライフステージに応じた理 解と支援ー」 講師 信州大学医学部附属病院 本田秀夫氏 会場 武雄市文化会館小ホール	another planet		
5	28	定例学習会 「医療の現場から」 講師 肥前精神医療センター 会場 佐賀市文化会館 大会議室			

6	18	定例学習会「自閉症の特性」 講師 オーティズム・リサーチ&コンサルタンシー 服巻智子氏 会場 ほほえみ館視聴覚室		ぷらう 送付	
7	9	定例学習会「構造化について」 講師 オーティズム・リサーチ&コンサルタンシー 服巻智子氏 会場 ほほえみ館視聴覚室			理事会 報告
8	未定	定例学習会「教育の現場から」 講師 会場 未定			
9	未定	定例学習会 講師 未定 会場 未定			
10	22	公開講演会 予定 講師 川崎医療福祉大学 諏訪利明氏 会場 エスプラッツ 佐賀市交流プラザ			代表者会
11	未定	定例学習会「就労支援」(予定) 講師 それいゆ 五所朱里氏 会場 未定		ぷらう 送付	
12	未定	事例検討			

### ＜大分支部＞

期日	活動内容・講師	
1月24日(日) 13:00- 13:30 14:00- 16:00	大分こども 発達支援 センター	13:00-13:30 大分支部総会 14:00-16:00 基礎講座① テーマ：教育現場におけるさまざまな実践 講 師：小山 尚子氏(日田市立桂林小学校 教諭) ：藤並 寛子氏(国東市立安岐小学校 教諭)
2月20-21日	京都市	2016 TEACCH コラボレーションセミナー
3月19日(土) 10:00- 15:00	大分こども 発達支援 センター	講演会 テーマ：自閉スペクトラム症をもつ人の コミュニケーションを育てる 講 師：加藤 潔先生 (札幌市自閉症者自立支援センターゆい 所長) 講 師：坂井 聡先生 (香川大学教育学部特別支援教育講座 教授)
5月29日(日) 10:00- 12:00	大分こども 発達支援 センター	基礎講座② テーマ：学校の役割と心理士の役割 講 師：安東 康二郎氏(特別支援学校 校長) ：河野 和美氏(大分こども療育センター 臨床心理士)
6月19日(日) 10:00- 12:00	大分こども 発達支援 センター	基礎講座③ テーマ：地域におけるさまざまな実践 講 師：石松 聡美氏(Bee スケット 相談員) ：鹿島 清子氏(いきいきっ子クラブ 支援員)

7月10日(日) 10:00- 16:00	調整中	講演会 テーマ：感覚統合療法について(仮) 講師：岩永 竜一郎先生 (長崎大学医学部保健学科作業療法学専攻 准教授)
9月11日(日) 10:00- 16:00	調整中	講演会 テーマ：未定 講師：梅永 雄二先生 (早稲田大学教育・総合科学学術院 教授)
11月19日～ 23日 詳細未定	調整中	トレーニングセミナー in 大分 詳細未定

### ＜熊本支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	会報の 発行	総会, 世話人会など
1月	16日	12時30分 ～ 16時30分	(総会) 平成28年度熊本支部総会 (特別講演) 講演会「ASD(自閉症スペクトラム障 害)をめぐる最近の動向」 講師：熊本大学医学部附属病院神経精神 科 特任助教 田中恭子先生		総会 世話人会
4月	30日	14時00分 ～ 16時30分	(基礎講座) 内容：自閉症の子どもを支援する～支 援の実例に学ぶ～(仮題) 講師：オフィスぼん代表 天才塾 bon 塾長 中山 清司 先生		世話人会
7月	16日	計画中	(講演及びワークショップ) テーマ：『障害者差別解消法 合理的配 慮』 講師：検討中		世話人会
10月	15日	計画中	(実践報告会予定) 『障害者差別解消法 合理的配慮』 (仮)に関わる実践報告 講師：調整中		世話人会

## 『第18回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー in 大分』についてのお知らせ

TEACCHプログラム研究会では、1989年以降、自閉症療育者のためのトレーニングセミナーを全国各地で開催してまいりました。このセミナーは自閉症の人たちへの治療、教育、福祉に携わっている方を対象に、自閉症への理解を深め、支援技術のさらなる習得を目的とするもので、過去に多くの方が受講し、知識と技術を身につけ各地でご活躍されています。

諸事情により2012年の鳥取での開催以来、開催が見送られておりましたが、このたび、第18回のトレーニングセミナーが大分県別府市において、2016年11月19日（土）～23日（水・祝日）の5日間の予定で開催されることになりました。長い間お待たせしたこともあり、今回は充実した内容で、5日間のトレーニングセミナーを行いたいと考えております。

まず11月19日（土）に当研究会の会長である内山登紀夫先生による公開講演会①を行います。内容と致しましては、発達障害の「対応困難例」（触法事例、強度行動障害、自殺関連行動、重度のひきこもり、など）の支援方法について、を予定しております。

つづく11月20日（日）に当研究会常任理事（研修担当）である諏訪利明先生をはじめとする講師の先生方による公開講演会②を行い、自閉症の発達特性を理解する上での基礎的なこと、評価方法について、構造化などを学びます。翌21日～23日の3日間、自閉症児者にご協力いただいて実際の支援方法を学ぶための実習を行う予定です。実質的なトレーニングセミナーは、20日から23日までの4日間となります。

プログラムなどの詳細については現在調整中ですが、今回は第1報としてお伝えし、7月頃改めて皆様に正式にご案内したいと考えております。なお、参加者の募集についてはその案内をお渡しした後（7月頃）より開始したいと考えています。各支部を経由して皆様のもとに案内をお届けさせていただきたいと思っております。また参加者の募集とは別に、本セミナーを裏で支えてくださるボランティアスタッフも同時に募集する予定になっております。参加者として、あるいはボランティアスタッフとして、本トレーニングセミナーにどうぞふるってご参加ください！皆様のご来県を温かい温泉と新鮮な海の幸山の幸（？）とともに、心よりお待ちしております！

文責：大分支部代表 三ヶ田 智弘

### 【お問い合わせ先】

〒870-0943 大分市大字片島字長三郎 2996-1 大分こども発達支援センター内  
TEACCH 研究会大分支部事務局 担当：池邊（いけべ）  
TEL：097-557-0121 FAX：097-557-0122

# 実践研究大会 in 神奈川2017

日程：平成29年2月18日(土)～19日(日)

会場：ユニコムプラザ さがみはら (相模原市立 市民・大学交流センター)

<http://unicom-plaza.jp/facility/>

bono相模大野 サウスモール3階  
(相模原市南区相模大野3丁目3番2号)

みなさんのおいでを  
お待ちしております



## 【会場アクセス】

小田急線 相模大野駅から徒歩2分

新横浜駅から JR横浜線+小田急線 で 約30分

羽田空港から 電車で 約1時間5分

リムジンバス で 約1時間

新宿駅から 小田急線 で 約35分

東京駅から 電車で 約1時間

大会テーマ：「ライフステージに沿った支援」

## 主なプログラム(予定)

1日目〔2月18日(土)〕

13:00 ～ 開会式

## 公開講座「ライフステージに沿った支援(仮題)」

心と発達の相談支援 another planet 代表

大阪大学大学院連合小児発達学研究所 招聘教員

服巻 智子 先生

TEACCH プログラム研究会平成29年度総会  
懇親会

2日目〔2月19日(日)〕

午前 分科会に分かれての実践報告

複数の機関が連携しながら、  
縦断的に、ライフステージに沿って  
支援を行っている事例を  
募集しています

\*詳細は秋に配布するチラシ、またはホームページをご覧ください。